令和6年度 第2回中野市健康づくり協議会 会議経過書

日時	令和6年8月22日（木）13：28～14：08
会場	中野市役所 会議室52・53
出席者	<p>【委員】 三澤一道会長、小澤美津恵副会長、荒井正彦委員、高橋智子委員、金山正太委員、東本雅之委員、武田守弘委員、小林みどり委員、吉見和彦委員、石渡孝男委員</p> <p>【事務局】 高山健康福祉部長、田中健康づくり課長、土屋健康づくり課長補佐兼健康管理係長、小林保健医療推進係長、久保主査、望月保健師、佐藤保健師、佐野主事</p>
欠席者	洞久美子委員、神田文人委員、山口光雄委員、小林豊委員、
次第	1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 (1) 2024健康づくりフェスティバルについて ① 開催要領及び健康コーナーについて ② 講演会について ③ 健康づくり実践賞について ④ その他 (2) 中野市ののちを支える自殺対策計画の策定について 4 その他 5 閉会
資料	1 2024健康づくりフェスティバルについて 2 中野いのちを支える自殺対策計画の策定について

1 開 会 小澤副会長（以後、進行）

2 あいさつ 三澤会長、高山健康福祉部長

3 協議事項

(1) 2024健康づくりフェスティバルについて 【資料1】

① 開催要領及び健康コーナーについて

（説明者：佐野主事）

健康づくりに対する知識と意識の高揚を図ることを目的に、10月19日にソソラホールで健康づくりフェスティバルを開催する。開催要領は資料のとおり。

当日の駐車場は市民会館ソソラホール北側駐車場及び市役所駐車場とする。関係者用駐車場については調整し後日各団体へ連絡させていただく。

健康コーナーについて、参加団体はおおむね例年通り。北信総合病院健康管理センターのコーナー内容についてはまだ確定していないため（仮）としている。昨年は日程が合わず不参加だったア

イバンク（献眼）等運動推進協議会に今年は参加していただけることになった。また昨年度末に解散した血圧測定友の会の方々に今年もご協力いただけるということで、団体名を血圧測定ボランティアとしている。中野市では新たにキッズコーナーを追加した。

○ 三澤会長

中高医師会の健康よろず相談のコーナーについて、例年は2部屋使わせていただいていた。資料の会場レイアウト図を見ると今年は会議室102だけになっているが、医師2名での個別相談はできるのか。

○ 小林保健医療推進係長

昨年までの会場である中野保健センターには診察室が複数あったため、個室2部屋を中高医師会のコーナーに割り当てていた。今年は会場がソソラホールになったため、会議室102の室内をパーティション等で区切ることで、個別相談を2か所で行えるようにしたいと考えている。

○ 三澤会長

他に質問はあるか。

→質問なし

② 講演会について

(説明者：佐野主事)

前回の協議会で、講演会は保健補導員会の研修を兼ねて、北信総合病院の医師に脳卒中についての講演を依頼するというので承認をいただいた。北信総合病院に依頼したところ、脳神経内科医師の春日先生をご紹介いただいた。演題、内容、講師のプロフィールは資料のとおり。

資料5ページの講演内容の紹介文の中で、「中野市の要介護になる原因疾患第2位」という脳卒中についての記述があるが、昨年度のデータによる集計結果となっている。最新のデータでは順位が異なることが分かったため、今後の広報等では当該部分の記述を修正させていただく。

○ 三澤会長

質問等はあるか。

→質問なし

③ 健康づくり実践賞について

(説明者：佐野主事)

関係団体等から推薦がなかったため、実践賞贈呈式は無しということでお願いしたい。

○ 三澤会長

質問等はあるか。

→質問なし

④ その他

(説明者：望月保健師、佐藤保健師)

健康づくりポイントアプリの中で、フォトコンテストを計画している。コンテストの上位作品

については健康づくりフェスティバル内での表彰を考えている。

健康づくりポイント事業は令和元年度から実施しており、昨年度からスマートフォンアプリを導入した。健康づくりに取り組み、アプリでポイントを貯めることで、お食事券を貰うことができる。アプリの導入により、これまで高齢者が主であった参加者の年齢層が広がった。

今回のフォトコンテストは健康づくりに取り組む市民の増加を目指し、アプリ登録者の継続利用促進及び新規登録者の増加につなげることを目的に開催する。概要については資料6ページのとおり。

○ 三澤会長

フォトコンテストへの参加方法がアプリ内での写真投稿のみだと、参加者は若者に限られてくる。高齢者でもできるような、アナログの参加方法はあるのか。

○ 佐藤保健師

今回のフォトコンテストはアプリのみでの取り組みとなる。アプリの利用が難しい方に向けては、健康づくりポイント事業において、手書きで日々の取り組みの記録をつけることができる健康記録用紙を用意している。

○ 三澤会長

フォトコンテストに投稿する写真の撮影場所は中野市内に限られるのか。

○ 望月保健師

今回はフォトコンテスト自体が初の試みのため、中野市内に限定としたい。

○ 金山委員

健康アプリについて、昨年記録用紙では検診を受けるとポイントが加算されていたが、今年もそれは継続しているのか。

○ 佐藤保健師

継続している。検診受診によるアプリでのポイントの取得方法としては、受診後すぐに取得というのがシステム上難しい。そのため検診期間終了後の1月にアプリ内でアンケート調査を実施し、受診したと回答いただいた方にポイントを付与している。

○ 三澤会長

他に質問はあるか。

→質問なし

フォトコンテスト表彰について、健康づくりフェスティバル内で行うということでご了承願いたい。

(2) 中野いのちを支える自殺対策計画の策定について 【資料2】

(説明者：土屋健康づくり課長補佐兼健康管理係長)

自殺対策計画の策定にあたり、中野市の自殺者数等の現状について整理を行い、その結果を資料1～4ページにまとめている。中野市の自殺者数は、全国、長野県と同様に令和3年までは減

少、令和4年に増加、令和5年に再び減少している。

資料5ページ以降は、中野市いのち支える自殺対策推進懇話会において、現在検討している骨子案として説明したものと同様の内容となる。先に開催した自殺対策推進懇話会では、資料8ページの(5)児童生徒のSOSの出し方に関する教育は児童生徒のその後の人生においても生きていく重要な事項であるとの意見があったため、この基本施策については今後さらに内容を検討していく。また中野市の数値目標について、実行可能な数値かどうか再度検討を進めていく予定としている。

○ 三澤会長

意見、質問はあるか。

→質問なし

4 その他

○ 田中健康づくり課長

次回の協議会について、1月頃の開催を予定している。健康づくりフェスティバルの実施報告、自殺対策計画の素案についてご協議いただきたい。改めて通知する。

5 閉 会